

ベストマッチ® 現地レポート

広島のカキ栽培に ベストマッチ!!

「切り花用511」

カネコ種苗(株) 広島支店
高松 利守



ベストマッチの導入について
【富田肥料(株) 富田文平専務】



富田肥料株式会社社屋

港であり、かの有名な戦艦大和が建造されるなど、戦前は東洋一の軍港とうたわれ、日本一の海軍工廠(こうしょう)の地として発展しました。地域資源は島しょ部を中心とした、温州みかんや国産レモンなどのかんきつ類・トマトやネギなどの野菜・カキをはじめとした花卉栽培が盛んに行われています。

富田肥料(株)様は呉市にて戦後昭和25年、肥料の販売に着手し、現在は化学肥料製造及び卸売業・農薬・園芸関連資材・化学薬品などの販売を手掛けております。

「ベストマッチ」に関しては主に、切り花用511、タマネギ用、コンニャク用、ポット苗用の多岐にわたる推進・普及をしていただいております。



写真左から籾田さん(営業)、社長夫人(主婦) 富田社長、富田文平さん(専務)

「ベストマッチ」は品質および種類が豊富にあることが魅力です。作物ごとにベストな肥料設定商品を選択

km、呉市から約6kmの位置に在ります。広島のカキでも主力を担うカキ養殖地でもあります。山本農園では三世代で地元でも有名な「キク」栽培を江田島で行っています。昭和30年頃からキク栽培を始め、主に小菊・輪菊を栽培しています。現在は三世代家族6名と海外実習生6名で行っています。



自家製堆肥(2015年撮影)

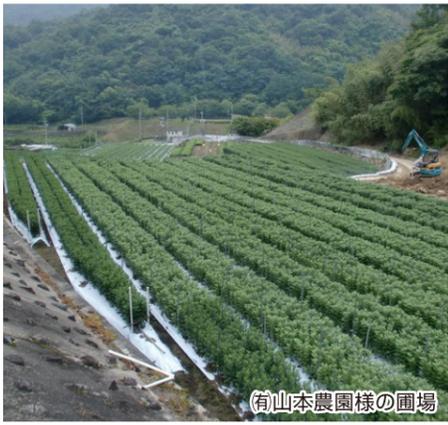
●「ベストマッチ」との出会い

富田肥料さんからはじめて「ベストマッチ」を紹介されたのが5年前の2014年8月でした。半信半疑で使用して肥効の安定に驚き、次年度から本格的に使用しました。使用して特に良かったところは、

- ①一発肥料の中で「切り花用」商品
 - ②化成肥料(元肥・追肥)よりも肥料代が安価
 - ③他の肥料と異なり、粒がほぼ一定のため散布しやすい
 - ④何より作業コストの削減
- であり、マルチ栽培を6〜7年前から始め、追肥等で困っていた時に富田肥料さんから「ベストマッチ」なタイミングで紹介を頂いたことも大きかったです。



(有)山本農園様の圃場(ハウス)



(有)山本農園様の圃場

施肥量については標準量の200kg/10aで使用しましたが、現在は自家製堆肥の併用により120kg/10aで栽培を行っています。生花は市場での評価も高く、ベストマッチのおかげと感えています。

●西日本豪雨で大きな被害

2018年7月の豪雨でキク圃場も大変な被害を受けてしまいました。隣接している河川からの氾濫、山腹からの土砂の流出もあり、2019年7月現在も復旧作業が行われている状態です。その中でもキクの栽培が出来るように圃場整備を進めているところです。現在の栽培面積は露地で3ha。ハウ



西日本豪雨被害復旧状況(2019年7月3日撮影)

できる。施肥におけるトータルコストを農家の皆様にきちんと説明ができるため、安心して勧めやすいです。このことは取り扱う商品を導入する際に特に重要視しています。

江田島のカキにベストマッチ 【(有)山本農園様】



(有)山本農園 会長夫妻と孫の満彦さん



三高の菊発祥の碑

江田島市は広島湾に浮かぶ、江田島、能美島とその周辺に点在する島々で構成されています。広島市から約7.5

又は1〜2ha(回転は2〜2.7)で年間約6haの栽培を行えるようになりました。

今後の展開について

引き続き既存商品の販売はもとより、「ベストマッチ」の他の商品の展開を農家での試作によって確立させ、展開していきたいと思えます。

ベストマッチ® 切り花用511

15-11-11-Mg1.5-B0.1

「切り花用511」は、化成肥料と4種類の被覆肥料を組み合わせ、元肥として一回施用するだけで、切り花の栽培終了まで肥効が持続します。また、窒素・リン酸・カリの他に苦土、ほう素成分も配合し、切り花の生育に適した設計となっています。